

# 名経大通信

第20号

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

2007年4月15日

## CONTENTS

**p1** 創造力いかに豊かな社会を 大学院から博士第1号  
末岡学長の卒業式告辞

**p5~7** エッセー集  
「学生たちとステージ弾む」  
「アルバイトと生活リズム」  
「自分探しのススメ」

**p8** 本学でマイクロソフト検定

**p10** 就職内定率、大きく向上

**p11** スクールバス大増便

**p14** 留学生と活発な交流





# 創造力をいかし 豊かな社会の実現を



大学院の課程を修了された方々、学部及び短期大学部を卒業される皆様、修了及び卒業おめでとうございます。名古屋経済大学の教職員を代表して心からお祝い申し上げます。

大学院を修了された方々は優れた研究者ならびに専門的な職業人として社会の指導者となるべく教養と学術を身に付けられました。学部・短期大学部卒業の皆さんは、単に学位を修めたというだけでなく、学生生活を通じて多くの友人を得たり、大学生として社会と関わりをもち、その中から多くの学びと経験を積まれたことと思います。またこの度、三十七名の留学生が共に卒業式を迎えられました。速く祖国を離れ、言葉や習慣が大きく異なる環境のもとでの勉学や生活は苦勞も多かったこととでしょう。今後は日本で得た友

人との繋がりを大切にして、お互いの国の発展のために大いに活躍されることを期待しています。大学院卒業は皆さんの人生設計の節目となる大きな出来事であると同時にひとつの通過点です。卒業する皆さんの多くは直ちに実社会にて活動を始める方々であると思いますが、いざれにしても多くの試練が待っていることは言うまでもありません。

今、社会は内外を問わず、多くの課題を抱えています。異常気象による環境の異変や、政治・経済・エネルギー問題、宗教や民族対立の激化など、現代社会の問題は波乱含みで、世界は不安定の様相を濃くしていま



法学博士  
穂積金兵衛さん

## 大学院から博士第1号 電子商取引の研究

このたび、名古屋経済大学大学院法学研究科において、博士第一号が誕生しました。法学博士となられた穂積金兵衛さん(44)は平成十二年

す。しかもそれらは日本だけの固有の問題に留まらず、人類社会全体に関わる問題ばかりです。身近なところでは「勝ち組」や「負け組」、「格差社会」なる言葉が日本の社会を象徴するキーワードになっています。こうした時代に大学を卒業し、大きな期待を背負って実社会に巣立つ皆さんには、自分の人生をどう生きるかを考えてほしいと思います。

そこで私がお願いしたいのは、皆さんが後で振り返ったときに自分で誇りに思える生き方、共感できる生き方を選択して欲しいということ、自分は今何を成すべきなのかを把握し、新世代を支える皆さんの責任ある行動と努力がやがて日本に人間性豊かな社会を実現させる一歩となる

に本学大学院法学研究科に入学。修士課程修了後、博士後期課程へ進学し、電子商取引法について研究されました。

電子取引の増加に伴い拡大するさまざまな紛争を背景に、その問題解決のための法規制などを研究。博士論文では、電子商取引におけるADR(裁判外の紛争処理制度)の活用をテーマとして、実務に裏付けられた問題提起と新しいビジネスに伴う新しい知見、論文のオリジナリティ

ことを認識してください。本学で学び得た広く深い教養と知識、創造力を総動員すれば、多くの困難が克服できるばかりでなく、皆さんの手で二十一世紀を創り出せると信じています。

皆さんの今後の活躍とその評価は、やがて本学の評価を高めることになり、大学の評価が高まることは皆さんを陰から応援することになると同時に皆さんの誇りに繋がるものと確信しています。名古屋経済大学は皆さんのこれからの人生にとって、いつまでも有意義な存在であり続けたいと思っています。

最後に皆さんのご卒業を重ねて祝し、今後の限らない発展をお祈りいたします。

が高く評価されました。

博士後期課程の標準的な卒業年限は三年ですが、法学のような社会科学の場合はその間に成果が出るのが非常に困難と言われています。穂積さん自身「一所懸命やれば、無駄なことはない」と言うように、法学博士第一号の誕生の経緯には、一所(「今やるべきこと」)に集中して励んだ精神力とあくなき向上心を欠くことはできず、また本学大学院においても榮譽ある快挙であると言えます。

## 新学年にあたり 学生のみなさんへ

### 論理的に問題解決を



大学院  
法学研究科長  
若原 紀代子

法学研究科へ入学されたみなさん、心から、歓迎します。

私たち教授陣は、みなさんの目的・目標が達成できるように指導体制を整えサポートしますが、みなさん自身が意欲と責任をもって学修し、研究に邁進されることがもつとも肝要です。

戦後六十余年を経て、社会経済情勢の変化に伴い、近年、各種法律の改正や新たな法律の制定が相次いでいます。取り組むべき法学の研究課題は山積しています。法学思考の特徴の一つは、「客観的ルール」を根拠として論理的に問題解決を析出することであり、学説と判例が相まって

法学を発展させます。もとより、実務も無視し得ません。どうか、指導教授の指導・助言のもと、創造的で先端的な知見と考察を深め、成果を挙げていただきたいと願っています。そして、初心を忘れることなく、大学院入学の目的・目標を達成されますよう祈念します。

### 高度な専門職に



大学院  
会計学研究科長  
大江 晋也

入学おめでとうございます。

会計学研究科の博士前期課程(修士課程)におきましては、会計学(経済・経営含む)の専門分野に特化した研究・指導を行っております。特に、最近の変化の激しい会計環境に対応するためには、個人レベルで

### 臨想的、実践的な 力を持つよう



大学院  
人間生活科学研究科長  
小林 重雄

研究するには限界がありますので、課題の問題解決能力と専門的知識を理論的・実践的に体系的に研究する場を提供している社会人大学院であります。

具体的には、基幹科目、展開科目、関連科目、研究演習科目として科目が設定されており、専門的研究を行うのに、最適な環境を提供しております。

博士後期課程におきましては、修士課程において展開している会計学分野をさらに高度化し、社会の多様な方面で活躍し得る高度な専門的職業人および研究者の養成を目指しております。

子どもを取り巻く環境は大きく変化し、子育て家庭への支援、次世代育成支援など差し迫った課題を抱えています。幼児保育学専攻ではこの

### 地味で地道な努力を



大学  
経済学部長  
牧野 香三

分野での中核的、指導的役割を果たす専門的職業人としての「保育者」を養成することを目的としています。

また、現代社会における栄養管理分野の高度化や多様化により、栄養管理分野に対する社会的な重要性が高まりを見せています。食生活の多様化による栄養管理分野の人材養成に関わる質的向上・量的拡充に向けて、社会的な需要が増大しています。

さまざまなパーソナリティと能力を持った学生集団が、臨想的、実践的力量的獲得のために意欲的に研究活動を展開していく研究科をめざしていきたいと考えています。

皆さんは兎と亀の話を知っていますね。亀ののろさを小ばかにして昼寝を決め込んでいるうちに亀に負けたという兎の話。あれは何を教えているのでしょうか。油断大敵？ 兎



についてみればそういうことでしょうか、それだけでしょうか。  
亀にとっては相手が誰でもよかった。亀はただひたすら自分のゴール目指して歩いただけだ。そしてついに偉大な結果を得た。そういうことではないでしょうか。地味で地道な努力の大きな価値を教えているのだと思います。偉大なことというのは

最初から偉大なことではないのです。高い志を掲げて、しかし、日々の小さな歩みをうまずたゆまず続けていけば、いつの日か偉大なことを成し遂げることが出来る。どうかそれを信じて、一日一日の努力を積み重ねてください。  
夢はあなたを見捨てない。あなたが夢を見捨てない限り。



スケッチ・山本繁教授

夢も勉強によって  
叶えられるかも



大学  
経営学部長  
岡本 秀昭

入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。夢がないとか夢がもてないという人がいます。夢の大小はあるにしても誰でも見ることが出来ます。経営学部に入學した以上、皆さんは将来、経営者になるくらいの夢をもって下さい。そのためにはあらゆる意味の勉強が必要です。その基本は授業に出て勉強することです。これは皆さんが入學して果たすべき最低の義務ですが、授業でも難しい理論や専門用語がたくさん出てきます。その場合、分からないままにするのではなく図書館へ行くなどして調べるようにして下さい。  
自分から進んで学ぶという態度は将来社会に出てからとても役立つと思います。その積み重ねが知識・経験となり、それを知恵・創造力に変えることができれば、経営者になれる

るだけではなく、皆さんのもっている他の夢も実現できるかも知れません。そうなるよう一生懸命努力することが勉強だし、それが人生において大切だと思います。

新聞を毎日読もう



大学  
法学部長  
樋口 徹

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからの四年間、大学生としてあれもしたい、これもしたいと胸をワクワクさせていると思います。  
若者である皆さんには、結果を恐れず何事にも積極的にチャレンジして欲しいものです。私はその中の一つとして、皆さんに新聞を毎日読む習慣を身につけることをお勧めします。法学部の学生さんであれば、特に政治面や社会面の記事に関心を持ってもらいたいと思います。それは、社会に存在する問題を正確に把握することが、法律の正しい解釈につながるはずだからです。  
テキストや専門書をいきなり読む

のは骨が折れることもあります。新聞記事なら簡潔な文章ですので読みやすいと思います。皆さん、大学生になったら是非新聞を毎日読む習慣を身につけてください。新聞は、生きた教材です。

自己鍛錬と友人づくり



大学  
人間生活科学部長  
中野 紀和男

入学おめでとうございます。最近のお笑いブームってなんだろう？ ごく一部を除き、ほとんど才能もない芸人達が、ちょっとしたきっかけで「ブレイク」し、どのチャンネルにも出て、騒ぎ廻っていると思いませんか。昨今の「悪乗り日本」の一現象だと思います。  
私はウィーンフィルのニューイヤークンサートでのバレエの美しさに魅せられ、この数ヶ月テレビのオペラ座バレエ教室を楽しみました。そこではプロの卵達が厳しい訓練を積み重ね、人を感動させる美しい演

人間性豊かな保育者に



短期大学部  
保育科長  
船井 廣則

技をするようになるからです。皆さんが将来、それぞれの専門分野で自己を生かし、世の中に貢献するためには、たゆまない自己鍛錬が必要です。一生に続く友人を作り、学生生活をエンジョイすることはもちろん大切です。その一方で、皆さんがこの四年間を、将来を決める大切な時と捉え、勉強されんことを願っています。

本学保育科は、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格が同時取得できる、国によって認定された養成校です。入学されたみなさん方にはぜひとも両方の資格を取得して卒業していただきたいと私たち保育科教員一同は願っています。  
幼児期は、人間としての基礎を育む大切な時期です。昨今の社会情勢はそうした時期を見守る保育者の役

ライバルは自分自身



短期大学部  
キャリアデザイン学科長  
武田 康雄

新しく入学された皆さん、キャリアデザイン学科へようこそ。皆さんは新しいスタートラインに立たれました。いよいよこれから自分のキャリアを目指すレースが始まります。ライバルはあなた自身です。  
自分の目標が決まっている人、これから決める人、どちらの人もキ

リアデザイン学科での短大生活を「充実した二年間」にしたいたくことを願っています。そのためにはどうすればよいか。自分のキャリアは誰のものでもありません。自分で切り拓く自分自身のものです。誰かの指示を待つことなく、自ら判断し、積極的に新しいことにチャレンジすることです。

大学には様々な施設、設備があります。そしてあなた達の能力を試したり鍛えたりする機会もあります。それらは皆あなた達に活用されるのを待っています。我々教員も皆さんの力になれる機会を待っています。実りあるレースを目指して下さい。



スケッチ・山本繁教授



## 学生たちと ステージ弾む

小中陽太郎

(短期大学部 キャリアデザイン学科 客員教授)



本学に着任した年、ちょうど古巣のNHKで大河ドラマ「功名が辻」がはじまり、小牧だ、羽黒だ、と懐かしい地名が頻出して、すっかり懐旧の情にひたった。

もともと、犬山十一代城主、故成瀬正勝先生は、東京大学の教養学部で国語学の恩師。私自身はフランス文学科に進むが、先生の温顔は忘れがたい。さらに先生は妻のおじに当たる明治の研友小栗風葉の二十二の作品、酒造りの悲恋もの「亀甲鶴」を、それまでの文学史の通説に反してその記録性を高く評価された。それは拙著「青春の夢―風葉と喬太郎」に引かせていただいた。

本学のすばらしいところはなんといつでも城下町、犬山の南に位置し、柿や桃に囲まれた自然と歴史の息づいている環境だろう。

学生は物静かで素直である。坂道を登りながら声をかけるとにっこり笑顔を見せて、挨拶を返してくれる。輝く柿の实の前で息を切らせていると、すいすいとブーツが追い越して

ゆくのが少々悔しいが。図書館が広く、ロビーには季節ごとに写真展が飾られるのもたのしい。さてわたしの講義は「テレビと芸術」「テレビと市民」で、私自身の企画するイベントに積極的に参加してもらっている。

昨年のパリ祭には、名古屋港の港湾会館で、シャンソン歌手碧川り子の脚色主演で、拙著「ラメール母」のミュージカルを上演した。キャリアデザイン学科放送コースの学生たちが準備段階からボランティアで参加してくれた。

女子学生の一人は、会館の近くの文房具店で、母親ぐるみの支援。ここらで、かつての女子商業の伝統かと感服した。話は飛ぶが、小栗風葉の記念碑が、知多半島の師崎の延命寺境内に立った夕方、「ことぶき」という漁師宿で食事したら、あとで手紙が来て、「本学の卒業生」とのことだった。さすがに市郵学園の伝統で、広範囲ですなあ。

つぎなる企画はこの三月に開催した名古屋経済大学協賛の「絶滅種テレビを発掘する」。これはわたしの五十年に及ぶ秘蔵の映像とシンポジウムをあわせたもの。

このところ、世間の批判の矢面に立つテレビを取り上げ、その歴史を振り返り、未来を展望しようという



シンポジウム「絶滅種テレビを発掘する」で

ものである。テレビ関係者や、犬山在住で「メディアと市民実行委員会」代表の木野秀明氏らと企画を練ってきたのである。シンポの司会は、元NHKアナウンサーで、本学の野田昇司副学長、さらに元CBCアナウンサー嶋田圭子本学講師ら錚々たるメンバーである。これに本学の男女学生が参加してくれた。ときあたかも今年度から愛知北FM放送とも連動して学内FM放送も開始。電波を通してコミュニケーションできる環境は整っている。

美しい自然にかこまれ、本学全体が自然の中のスタジオになってほしいと夢を描いている。

スターは学生である。

## アルバイトと 生活リズム

石川昭義

(人間生活科学部 幼児保育学科 教授)

学生のバッグには、ときどきアルバイト情報のフリーペーパーが入っているようだ。学生が置いていったものを見ると、「スタッフ大募集」という文字も多い。「アルバイト急募！」のチラシはかなり昔のこととなった。

私のゼミ生の話によれば、時給は七〇〇円から九五〇円、高いところでは一一二〇〇円。仮に、平日は平均二時間、土、日は八時間のバイトをすると、一週間で二〜三万円で、結構な収入だ。

学費や実習費に充てている学生もいれば、ケイタイ料金やガソリン代、ブランドのバッグに変わる学生も

る。計画的に貯金している堅実型もいる。

独立行政法人日本学生支援機構が行った「平成十六年度学生生活調査結果」によると、アルバイトに従事している学生の割合は七六％である。学生の収入状況を見ると、家庭からの給付が六六％、アルバイト収入が一七％、その他が一七％。アルバイトは生活を支える貴重な収入源となっている。アルバイト学生のうち家庭からの給付のみで修学が可能な人も、そのみでは修学継続が困難な人もほぼ同じ割合という。ここに一つの特徴が見られる。

犬山で下宿をしているゼミ生は、親に負担をかけないように帰省の交通費もアルバイトで捻出していると言っていた。下宿通学の生活費は自宅通学の一・七倍である。国立と比べ、私立の自宅通学生は一・七倍、下宿通学生は二・四倍(同調査)の負担増となり、格差はここにも出ている。

多額の収入を得たいと思えば、時給の高い職種を選ぶ。コンビニやファミレスの夜勤はその典型のようだ。学生は寝不足になり、生活リズムをくずす。授業中にばたばたと机に伏す光景を「ドミノが倒れていくようだ」と形容した学生がいたが、このツケは必ず成績に回ってくる。

「宿題をたくさん出したらアルバイトできる？」と学生に尋ねてみた。「その先生の授業の前日はバイトをいれない」と答えた。「じゃあ、全員の先生が宿題出したら？」と聞いたら、「……」。先生の授業方針をみて、宿題に要する時間を学生なりに計算してしま



感じがしたと感想を述べている。

人間関係も広がる。バイトに入れば、イヤなことを忘れろというストレス解消派もいる。「ちょっと人手が足りないから入ってくれないか」と頼まれ、「いいですよ」と引き受けてしまふときもあるようだ。そのとき、バイト代が、学校の成績か、どちらをとるかで将来を決めてしまふことになりかねない。



## 就活に必須 Microsoft検定 本学でも



本学の情報センター内に、マイクロソフト社公認のMicrosoft Office Specialist (Word・Excel) を受験できる設備が完成し、二月二十日を皮切りに、二月から三月にかけて計六回の試験が実施されました。仕切りのついたブースになっていて、一度に九名が受験できます。

Microsoft Office Specialistは、検定試験としての認知度が高まるにつれ、就職活動をするにもますます重要なものとなり、今や、必須の資格となりつつあります。またこの資格には、取得すれば日本だけでなく、世界中どこでも通用するという特典があります。ですから日本人の学生だけでなく、留学生にとっても挑戦する価値のあるものとなっています。

今回の試験は二月に開かれた資格支援講座Microsoft Office Specialist

## “自分探し”のススメ

野副 紫をん

(学生相談室カウンセラー・臨床心理士)



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生のみなさんは新学年、いかがですか？ 学生相談室の野副です。先日、教えてみてびっくり！ 私が本学の相談室に関わり始めてもう十三年になるのです。最近、学生さんとお会いしていて感じるの、みんな一生懸命生きているなあ……という素朴な、けれど、まぶしいような感覚です。自分の方が年齢を重ねて、少レクティブレタキたこともあるのですが、一人一人の学生さんが“今”を懸命に生きている姿に心を打たれ、襟を正す思

Excelに合わせて実施されました。学生の意識の高まりを反映して、講座受講者のみならず、自分で勉強したのも合わせ、計五十名近くが受験し、かなりの好成績をおさめました。

情報センターでは今後も月二回程度、定期的に受験を実施する予定です。わざわざ学外の受験会場まで出向かなくても本学で受験できますし、本学の学生には受験料割引の特典もあります。実施の日程については、逐次情報センターからお知らせします。せっかくキャンパスにできた施設です。これを利用しない手はありません。皆さんの積極的な挑戦をお待ちしています。

また本学近辺在住の一般の方、学校関係者の方にも通常の受験料で受験していただくことができます。キャリアアップを目指している方、資格を目標としている高校生の皆さんに、ぜひとも活用していただければと思います。

お問い合わせは情報センター  
☎(0568) 691-2600  
jcenter@nagoya-ku.ac.jp

いでいっしょに時間を過ごしていきなかつたし……。

A君が相談室を訪ねてくれました。家の事情で学費を出してもらえませんでした。いろんな話をしました。奨学金とバイト代で授業料をまかない、クラブでは裏方としてみんなを支えているようです。「苦労はあるけど、充実した毎日です」と輝くような笑顔を見せます。

さて、あなたはどうかですか？ “今”を十分に生きていますか？ 大学って何をしたらいいのでしょうか？ 入学時から志望動機はつきりしている人もいれば、「とりあえず入学してみたい」という人もいます。

指定校推薦で入学したBさんの場合。「たまたま入学したんだけど、やる気が出ない。何をやりたいのかわからない」と、相談にきました。幸い、Bさんは、その後、自分なりの目標を見つけることができましたが、卒業するまで、大学にきている意味を見出せない人も少なくありません。

ここで質問です。みなさん、高校までの生活と比べて、大学生活は何が一番違うと思いますか？ ……何と言ってもいろいろな面で自由度が違います。

高校までの生活を振り返ると忙しくなかつたですか？ 授業はピッチリ詰まっていたし、部活は抜けられ

なかつたし……。

目の前にあることに追われ、なかなか自分の“心の中”をのぞく余裕がなかつたのではないのでしょうか？

大学生の特権は自由に使える時間が多いこと！ それに、(大きな声では言えませんが)単位だって案外上手に取れるし、バイトや部活をやる、やらないは個人の自由だし。考えてみれば、一生のうちで、大学時代ほど自分の好きなように生きられる時期はないかもしれません。

そこでカウンセラーから提案です。せっかく時間があるのだから、ちょっと立ち止まって“自分”について考えてみませんか。

「自分はどんな人間なのか」、「本当は何をやりたいのか」、「何が好きで、何が嫌いなのか」、「これから大人として、どんな人生を歩んでいきたいのか」など。そんなことを考えることが、これからのあなたの心の糧になります。

相談室はあなたの“自分探し”のお手伝いをします。どうぞ、気軽にドアをノックして下さい。

また、相談室の隣に自由に使ってもらえる“フリールーム”を作りました。一人になりたい時、ちょっと誰かと話したい時など、自由に使うして下さい。ココロ関係の本も貸し出ししています。

## 学内合同企業展に76社



学内合同企業展が2月23日、プラザⅡで行われました。参加企業は76社。学生は採用担当者と接することで、企業の「素」の部分に触れることができました。この企業展で得た情報を十分に活用し、夢の実現に向けて第一歩を踏み出してください。

## 名古屋経済大学叢書

学校法人市邨学園創立一〇〇周年の記念すべき年に、名古屋経済大学叢書が大学院会計学研究所の六名の教授陣によって初刊行できたことは誠に光栄である。

著書のタイトルは「会社法と中小会社の会計」でありまして、平成十八年五月施行の新会社法を題材としたものであり、第一章「会社法および関係法令における会計規則の体系

と論点」、第二章「会社法計算規則と中小会社への適用」、第三章「中小企業の会計」、第四章「中小会社と監査」、第五章「中小企業の管理会計」、第六章「税理士会会計参与のためのインフラストラクチャー」、補遺「会計参与」となっており、中小企業会計を理解するための必読の書としておすすめしたい。

(会計学研究科長 大江晋也)



# 就職内定率おしなべて向上

前キャリアセンター長 小久保純一

昨年四月に就職部からキャリアセンターへと衣替えをして一年が経過しました。大学、短大ともに全学部学科において内定率が向上しました〔内定率一覧〕参照。

年間を通じての就職支援、キャリア形成支援を実施し、就職力バランス診断を全学生対象にウェブ上で実施するなど学生の意識高揚と具体的スキルの向上を図ることができました。特にOB、OGの方々にご出席いただいたの業界研究や恒例となった就職活動出陣式でのヤンキー先生こと義家弘介氏による講演会などの事業に取り組むことができましたのは大きな前進でした。また、資格講座をリニューアルし、前年より受講者が大幅に増加しました。さらに大手有名企業を中心に学内合同企業展を充実させることもできました。

しかしながら、問題点としては学生の参加率の低さがあげられます。ゼミごとの就活委員や学内放送の活用等を進めてきましたが、支援事業に参加する学生の顔ぶれは固定化し

## 内定率一覧 (2007年3月28日現在)

大学				
学部	内定者	就職希望者数	内定率	内定率(前年同期)
経済学部	107名	125名	85.6%	73.7%
経営学部	86名	105名	81.9%	76.6%
法学部	112名	154名	72.7%	61.0%
合計	305名	384名	79.4%	70.4%

短大				
学科	内定者	就職希望者数	内定率	内定率(前年同期)
キャリアデザイン学科	59名	74名	79.7%	旧3科 68.4%
保育科	98名	117名	83.8%	76.1%
合計	157名	191名	82.2%	73.5%

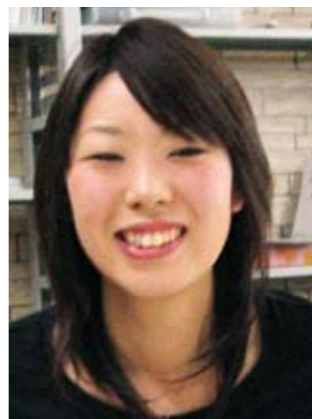
※ 内定率=内定者数÷就職希望者数

# こうして就職を決めました 今春卒業生

## 後輩の皆さん、ご参考に

- 〈質問〉
- ①入学の時から進路を決めていましたか
  - ②就職先
  - ③決め手となったのは
  - ④就職の武器は何ですか
  - ⑤ついでに一言

桑野美佳さん  
(短大部キャリアデザイン科)



- ① 漠然と警察官を志望していました。
- ② 尾西信用金庫。年金アドバイザーも担当する予定。
- ③ 本社も支店も家の近くですから。
- ④ 第一印象です。自分がどういう人間か、言葉で言えるように。
- ⑤ 「双子の姉妹で二人とも(別々の)短大に進み、二人とも尾西信用金庫に入社しました。前代未聞なので採用側が悩んだそうです」

浅沼史也さん(法学部)



- ① 高校三年の時から警察官にあこがれていました。
- ② 三重県警察本部。
- ③ つい最近、東京で線路内に入った女性を助けようとした警察官が殉職しました。皆から尊敬される職業と思っていますから。
- ④ 自分の信念。
- ⑤ 「職業柄、柔道と剣道の訓練があります。柔道は訓練後も続けようと思います」

山口剛史さん(経営学部)



広がりを得ることができませんでした。今後は全学的な就職支援、キャリア支援活動への取り組みが課題となります。中部地区No.1のキャリアセンターを目指して改革、改善をさらに進めていく必要があります。

就職という狭いカテゴリーでなく、すべての学生のキャリア形成に貢献するための基礎固めの一年でした。今年度は残された課題の解決と外部に向けてのPRに力を入れ、キャリアセンターを受験生や社会に対する本学のアピール・ポイントのひとつになればと思います。

- ① 父が製造業だったのでモノづくりの道に進むつもりでした。就職活動の中で商社の魅力を見つけました。
- ② ダイードリンク。営業マン。
- ③ やる気次第でチャンスが広がる良い社風を感じました。
- ④ 相手の目を見て、話をよく聞くこと。
- ⑤ 「釣りを趣味とし、釣竿を三十本位持っています。池から海まで出かけ、バイト先の仲間を引き込みました」

木村紀子さん(短大部保育科)



- ① 保育士以外に考えられませんでした。
- ② 刈谷市役所。もちろん保育士。
- ③ 結婚後、おばあちゃんになっても保育士を続けたい。それには公務員でないと難しいです。
- ④ 笑顔を忘れず、自分を出すこと。

- ⑤ 「お母さんと同じ短大を選びました。他の短大はさすがにそこらもあるように聞きますが、幸い自由な学風で視野が広がりました」

新村優一さん(経済学部)



- ① 地元(富山県)で展開する企業を考えていました。
- ② JR西日本。最初は関西の駅でスタート。
- ③ 将来の安定性。
- ④ 十三社受け、初めのうちは反省の繰り返しでした。そこから得た教訓は、楽しみながら面接すること、毎回反省すること。
- ⑤ 「孤独感を味わい、また友だちのありがたみを実感できた四年です。友だちが体調を崩したとき、薬を買って求め、下宿先へ見舞いに行って感謝されました。貴重な独り暮らしの初体験でした」

## キャリア・コンサルタントより

キャリアセンターで、多くの学生の皆さんと接し強く感じるがあります。

ただ漠然と学生生活を過ごすのではなく、勉強、クラブ活動、趣味、恋など、是非「欲張り」に様々な経験をして欲しいと思います。目標を持ち経験したことは就職試験だけでなく、これからの人生にきつと活きてくるもの(自身のキャリア)になります。

「卒業後の進路が決まりました」と嬉しい報告をしてくれることを、キャリアセンターにてくす玉を用意して待っています。(鈴木典子)



この資格を取得し、キャリア・コンサルタントにとって、「傾聴」が何より重要であることを学びました。傾聴とは、相手が言っていること、言おうとしていることを内容だけでなく、その背後にある感情に焦点を当てて耳を傾けて聴くことを指します。

学生の就職指導の際、まずこの傾聴を心がけ、学生ひとりひとりが持っている良さをたくさん引き出してあげたい。そして、本人が自分に合う就職先を見つけてほしいと願ってやみません。(森井資子)



# スクールバス、四月から大增便

## 田県神社前駅〜本学



かねてより、学生からの強い改善要望があったスクールバス(田県神社前駅〜本学)の路線を平成十九年度から大增便することになりました。本学生の場合、マイカー通学に比べ、電車通学が多いことから、駅前から大学までの通学路については竹藪伐採の整備、街路灯の充実などを進めてきました。しかし、これまでは駅とバス停との間に距離があり、運行本数も少ないという不便さがありません。

そこで四月から次の方法で運行することになりました。

- ①バス運行本数を増やし約四十往復とする。
- ②運行時間帯を朝八時三十分から夜八時三十分までとする。
- ③名鉄電車時刻表の電車到着時に合わせて毎時バスを待機させる。
- ④休日にもバスを(間引き)運行する。
- ⑤バス乗降場所は中部電力小牧営業所横に移す。

## 後援会懇親会 柴田会長あいさつ

名古屋経済大学、同短期大学部後援会の役員新年懇親会が一月十八日、名古屋市内のホテルで開かれました。後援会から柴田弘会長、服部功副会長、山下慶一郎前会長など、大学からは末岡学長をはじめ各学部長が出席しました。

柴田会長は「昨年の市邨学園百周年では歴史と伝統を感じました。本学生の就職率も高く、うれしい限りです。後援会も負けず劣らずがんばってまいります。学園のますますのご発展を祈念します」とあいさつされました。

これを受け、末岡学長は「学園百

周年行事を無事とり行うことができました。今年から全入時代を迎え、本学にも少子化が相当影響します。引き続き、ご協力をお願いします」と謝辞を述べました。



## 「ローソン名経大店」オープン!

「ローソン名経大店」が六号館学生ホールに四月オープンしました。学生・教職員の皆さんのニーズにこたえられる店を目指します。ご来店をお待ちしています。

## 「佐世保バーガー」も

コミュニケーションプラザに、今人気の「佐世保バーガー」が四月オープンしました。

「佐世保バーガーって？」その美味さをお知りじゃないアナタ。ぜひ足を運んで下さい。

【大学院】	【就任】	副学長 酒巻俊雄
人間生活科学研究科	研究科長 小林重雄	
【新任】	法学研究科	教授 本庄 資
会計学研究科	教授 酒巻俊雄	
人間生活科学研究科	教授 荒木和夫	
客員教授 友杉芳正	教授 笠井昭次	
教授 小林重雄	教授 東元 稔	
【大学】	【就任】	法学部長 樋口 徹
【新任】	人間生活科学部	助手 服部恵美
【昇格】	経済学部	教授 木村隆夫
経営学部	教授 中西昌武	
【退職】	教授 吉澤洋一	
教授 齋藤達次郎	教授 光岡 朗	
助手 加治屋裕也		
【短期大学部】	【就任】	保育科長 船井廣則
【新任】	キャリアデザイン学科	准教授 酒巻智子
保育科	講師 市毛愛子	
【昇格】	キャリアデザイン学科	講師 星野名生規
保育科	准教授 関谷みのぶ	
助教 城内利夫		
(退職は三月三十日付)		

# 学生顕彰制度 第1回表彰式

学術研究センターによって市邨学園創立百周年を記念し設けられた学生顕彰制度 Meikward の第一回表彰式が、アットホームな雰囲気の中、学内本館講堂にて十二月九日に催されました。表彰された方々は次のとおりです。

(個人功績部門の二名の関連記事が13・14ページに掲載されています)

## ○大学シンボルマーク部門

- 法学部 松下則之  
 法学部 伊勢村好史  
 人間生活科学部 伊藤美奈子  
 人間生活科学部 飯塚宣子  
 人間生活科学部 佐藤沙貴  
 人間生活科学部 柴田英美  
 人間生活科学部 佐々木愛  
 人間生活科学部 羽根宏美  
 人間生活科学部 鏡味雅世  
 人間生活科学部 椎葉礼絵

## ○ボランティア・サークル活動部門

- 児童文化研究会「わらべ」  
 代表 荒川苑美  
 ウィンドオーケストラ  
 代表 百瀬明日香  
 名経短FM放送研究会・FMラジオスタジオ名経  
 代表 野呂博邦  
 代表 武井秀真

## ○個人功績部門

- 法学部 池村光央  
 法学部 名城佳彦

## ○その他の活動部門

- 光松ゼミ・水口ゼミ・代田ゼミ・城内ゼミ(キャリアデザイン学科)  
 代表 江口優子・城生千代  
 中村ゼミ(キャリアデザイン学科)  
 代表 青山美奈



## パリ郊外の高齢者施設で

人間生活科学部管理栄養学科二年 桜井 好子

も素敵な物が用意されていて、本当に食事をするのが楽しくなるような感じを受けました。

引率の代田先生は、施設の運営や財源、年金などとの関係に興味を持たれてそういった方面の質問をされていましたが、私は管理栄養を学んでいるので、やはり食事について関心があり、食事や調理について聴きました。一人で食事ができない人には一人ずつ介護がつかます。席も一人ずつ決まっております。足の不自由な人のところには椅子はなく自分の部屋から車イスで行けるようになっていました。



この施設のお年寄りにはみなオシャレで、表情も穏やかで、日本にもこんな施設があったらいいのにと強く感じました。

二月二十三日から三月一日までの八日間、イタリア・ローマとフランス・パリを研修地とする、短期大学部による「海外研修」が実施されました。今年度初めて四年制大学の学生にも募集が拡大され、私も参加することにしました。

研修では、いろいろな経験をしましたが、特にパリ郊外の高齢者福祉施設への視察が印象深いものでした。

この施設には、七十歳以上の高齢者(平均年齢九十歳)が一四〇人生活しており、彼らの日々の生活を医師や看護、介護、調理などに関わる多くのスタッフがサポートしていました。入居者の部屋は全てシャワー付きの個室で自分の思いが詰まった家具や家族の写真などが置かれていました。

共用の施設としては、診察室、歯科治療室、美容院、プールとジャグジー、そして食堂などがありました。とくに食堂はテーブルクロスも食器



# 目標をもち伝統守る

法学部三年 主将 伊藤直樹

# 弓道部



名古屋経済大学短期大学部（旧市郵学園短期大学）に弓道部が発足したのは平成二年。市郵高校の弓道部出身の学生が短大でも弓道を続けたという思いからスタートしたようです。短大だけの弓道部が十数年間続き、「市郵学園短大」と刺繍されたワッペンで試合に臨んだと聞いています。

平成五年に名古屋経済大学にも弓道部ができて、短大との合同で練習や夏合宿を行うようになりました。十八年目の現部員は、二年生六人、三年生五人、四年生四人です。短大の部員がいなくなり、新入部員を募集中です。

弓道場は大学にはなく、犬山市の

道場で、一週間に三日（五時三十分～九時）練習しています。東海学生弓道連盟主催の試合を中心に出場し、他大学との交流を兼ねた練習試合も行います。

弓道は個人競技ですが、男子八人、女子三人のチームで約一か月にわたって戦うリーグ戦では連帯感と部活運営も含めたチームの総合力が試されます。また、大学生を対象とした

段級審査では、練習の成果を射技とペーパーテストで試します。

私は大学で弓道を始めました。道具をつけた時、弓を持ち実際に引いた時、矢を的に向かって打った時、初めて当たった時、持っている矢がすべてのに当たった時（皆中と言います）など、時間とともに自分の実力が上がっていくのが実感としてわかります。

基本さえ身に付ければ一生できるスポーツです。四月からは、学外コーチとして木下征四郎先生（錬士六段）にご指導いただくことになりました。今まで以上に集中力を高めて、実力をつけたいと思います。部活動としての目標は、秋季リーグ戦で男子は五部から四部へ、女子は四部から三部に昇格することです。

## 「学生顕彰」を受賞して 池村光央さん(平成十七年度 法学部卒)

公務員の職務と法律とは密接に絡み合っています。憲法や行政法を学んでいるうちに公務員としての仕事に興味を惹かれました。

公務員試験は範囲が広く、勉強期間も長期にわたります。したがって、いかに効率的に勉強できるかが、最終合格への「鍵」となります。

「未知の事」と「理解が完全でない事」に時間を割き、既知のことには時間を使わないようにすることが大事だと思います。例えば、問題集を解くときには別に解答ノートを作り、正解した問題と不正解の問題とが一目で分かるように工夫しました。

一般教養の知識問題対策は、全

教科万遍なく対策し、教科のリスクをなくすように心がけました。知能問題は、模試を受けるたびに時間のなさを痛感していたので、時間制限を設けて解く練習を繰り返していました。

専門科目は自分が選択する予定の科目以外も一通り勉強するように心がけました。特に国家Ⅱ種の場合は、年度によって科目の難易度にばらつきがあり、専門試験時間も長いことから、解いてから科目を選択したほうが、得点が伸びる傾向にあるからです。

面接などの二次試験は、私が独学ということもあって情報の無さに特に苦労しました。自分の受ける職種で聞かれるであろう質問を

想定し、そのすべての質問の答えを書き出すことから始めました。国家Ⅱ種官庁訪問では、官庁ごとの分析ノートを作り、対策を進めていくことも有効でした。

公務員試験の勉強は早い段階に一通り終わらせることが非常に大切であると思います。特に専門科目などは、初めわからなかった事が、一通り勉強が終わった後に理解できたという事が少なくありません。なにより精神的に楽になります。心に余裕を持てるのが最も大切なことかもしれません。

公務員試験は努力をした人が報われる試験だと思います。時には苦しい事もあるかもしれませんが、しかし、人生の分岐点です。ここで努力を積むことは学生生活最後の大きな一歩となると思います。

# 「熊猫(パンダ)」 深まる留学生との交流

人間生活科学部幼児保育学科三年 古井麻美



留学生は母国から遠く離れ、日本にきています。せっかく日本に住んでいるのだから、「日本語以外に、日本の伝統文化についてもより深く知ってもらいたい」と、昨年十二月に留学生文化交流会「熊猫(パンダ)」を結成しました。

最初はごく少人数でしたが、今では日本人学生七名と留学生三名で月一回の活動を楽しんでいます。結成して間もない十二月には餅つき大会、年が明けて一月にはカルタ大会とたこあげ、二月には節分の豆まきを行いました。

餅つきは、毎年自宅で餅つきをしていらつしやる先生のお宅にうかがいました。日本の伝統的な木の臼と杵で餅つきをし、この地方独特の花餅も作りました。留学生には全く初めての体験だったそうです。私たち日本人の学生にとっても、とても新

鮮な体験でした。

カルタ大会では、留学生が「分からない」と言っていた、カルタと百人一首の違いを説明しました。市販のカルタだけでなく、オリジナルのカルタも作りました。自分の心境を書いたり、ギャグを書いたり個性豊かなカルタが完成しました。自分たちで作ったカルタでは、普通のカルタや百人一首以上に盛り上がりました。

たこあげは、みんなで協力して和風作りに挑戦しましたが残念ながら失敗に終わりました。しかし最後まであきらめず協力して作る事ができたので、完成した達成感と喜びでいっぱいでした。

節分では、豆まきについて知っている事を互いに教え合い、鬼役と豆

をまく役に分かれ、豆まきをしました。豆まきの後は、恵方(あき)に向かって恵方巻きを食べました。

その他に、このサークルでは簡単な外国語での交流も行います。外国語を知らなくても大丈夫、留学生が優しく教えてくれます。覚えた外国語が留学生に通じた時には、言葉にできない喜びがあります。さらに、このサークルには先輩後輩といった上下関係がありません。きつと楽しく参加してもらえと思っています。

活動日は月一回なので、バイトや勉強に忙しくても気軽に参加できます。留学生と話したくてもなかなか話しかける事ができない人、外国語を学びたい人、留学生で日本の文化をもっと学びたい人、ぜひ参加してください。

## 「学生顕彰」を受賞して 名城佳彦さん(平成十八年度 法学部卒)

「困っている人たちの力になりたい」、そういった思いから、私は将来弁護士になることを目指し、南山大学法科大学院への入学を進路として選択しました。法科大学院では法律家になるための基礎的な能力を磨きつつ、子どもの人権や医事法を中心に学んでいきたいと

考えています。

四年間の大学生活では、高校時代の恩師に繰り返し言われた「集中することを覚えなさい、我慢すること覚えなさい」という言葉を胸に勉強を続けました。二年次からは卒業生との合同勉強会に参加し、図書館等の設備をフル活用

して勉強しました。質問があれば積極的に先生方の研究室を訪れました。こうした大学中心の生活が集中力・忍耐力を鍛え、法科大学院合格の決め手となったように思います。

新司法試験挑戦までの道程はまだ長い。「集中すること、我慢すること」を常に忘れず、謙虚な姿勢で歩み続けていきたいと思っています。

## 南アフリカでタッチラグビー 水谷君、山本君が出場



南アフリカ共和国で一月開かれた「タッチワールドカップ2007」に本学タッチラグビー部主将の水谷祥吾さん、同部員の山本祐介さん(いずれも経営学部四年)が日本代表に選出され出場しました。



# 入学式



平成十九年度入学式は四月一日、市邨記念体育館で行われ、大学院八十九名、大学五百三十九名、短期大学部二百六名の新生を迎えました。

高蔵中学・同高校吹奏楽部による記念演奏の後、「名古屋経済大学歌」斉唱で開会。末岡学長は「建学の理念である人物教育と国際化は現代社会にも生きています。伝統の継承者となっていていただきたい」とあいさつしました。

引き続き、入学生を代表して高橋るみさん（人間生活科学部管理栄養学科）が「今日が私たちの人生を決める大切な出発点となることを自覚し、自分の道を切り開いていきます」と宣誓しました。

# 卒業式



平成十八年度卒業式は三月十八日、市邨記念体育館で行われ、大学院六十七名に学位記、大学四百五名、短期大学部百九十二名に卒業証書が授与されました。

末岡学長は期待と激励の告辞を述べ、次の通り学長賞を贈りました。

## 《博士号取得者》

穂積金兵衛

《法学研究科企業法専攻博士後期課程》

## 《学業優秀で多単位取得者》

長谷川たまき（経営学部）

百武雅希奈（経営学部）

福井春葉（経営学部）

山口芳枝（経営学部）

河村康宏（法学部）

## 《学業優秀でトピック試験高得点》

名城佳彦（法学部）

## 《学業優秀》

荒木美穂（経済学部）

紙谷真吾（経済学部）

久野里恵（経済学部）

瀧 久実（経済学部）

加藤宏輔（法学部）

茶原清花（保育科）

野呂博邦（キャリアデザイン学科）

今井清歌（キャリアデザイン学科）

柄澤友貴（キャリアデザイン学科）

## いろんな免許を とりました

- 短期大学の平成十八年度卒業生は次の通り、各種免許・資格を取得しました。
- ◎幼稚園教諭二種免許状  
(保育科一〇〇名。うち男性十二名)
  - ◎保育士資格  
(保育科一〇二名。うち男性十二名)
  - ◎上級情報処理士認定証  
(キャリアデザイン学科二名)

- ◎情報処理士認定証(同九名)
- ◎ウェブデザイン実務士認定証(同三名)
- ◎ビジネス実務士認定証(同十名)
- ◎医療秘書実務士認定証(同十三名)
- ◎訪問介護員養成研修二級課程(十六名)
- ※全国保育士養成協議会会長賞  
市江弥生(保育科)

## オープンキャンパス OPEN CAMPUS

AM 10:00 ~ PM 3:00 受付 AM 9:30 ~

大学を自分の目で見て体験できるチャンスです！  
相談コーナーもありますので気軽に参加してください。

- 体験授業 ● 施設設備の自由見学 ● 進学相談コーナー ● サークル案内

参加者全員に大学案内パンフレット・入試要項・願書・オリジナルグッズなどを無料配布します。また、学食にて昼食を用意しています。

### 春のオープンキャンパス

4/21 sat.

### 夏のオープンキャンパス

7/22 sun.

8/19 sun.

### 秋のオープンキャンパス

大学祭同時開催

10/20 sat. & 21 sun.

※お問い合わせ／入試広報部：0568 (68) 0490